



今回のテーマは…「認知症と共に生きる」

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です。



認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを大川市では目指しています!!

❖生活の工夫について❖

認知症になっても、苦手なところを補う方法を考えていくことで、ご本人もご家族も少し楽に過ごせるのではないかと思います。得意なこと、苦手なことは人それぞれですが、工夫例をご紹介します。

工夫例

★覚えておくことが苦手な場合は、ホワイトボードにメモを書いてみる。

★日付がわかりにくくなってきた場合は、デジタル時計を使ってみる。

★言葉での理解が苦手な場合は、イラストで表示したり（トイレにトイレの文字ではなくイラストを貼ってみる）、動作と一緒にしてみる。

★探し物が増えてきて、貴重品を家族が代わりに預かる場合は、**本人の手書き**でメモに「〇〇さんに預けている」と書いてもらい、本人がわかる所に貼ってみる。

★予定を覚えておくことが苦手な場合は、携帯のアラーム機能とメモ機能を利用して、時間と予定を通知するように設定してみる。



人によってどの方法が良いかは異なります。どういう方法があうかわからない時やほかの人とも話してみたいという時は**認知症の人と家族のつどい**（裏面）へ参加してみませんか。

大川市の取り組み



❖ 認知症の人と家族のつどい（大川三瀨医師会館）

ご本人やご家族が同じ気持ちを共有できたり、情報交換ができる場です。

＜開催日程＞5月16日・7月11日・9月12日・11月14日
1月16日・3月12日（時間：14時～15時30分）

❖ 大川市高齢者等 SOS ネットワーク

認知症等で行方が分からなくなった場合に、警察や地域の協力機関等の支援を得ながら早期発見・保護に繋げる仕組みです。

申請窓口：健康課健康推進係（TEL:86-8450）

ご本人かご家族にて申請が可能です。（※本人の顔写真と立位写真をご準備ください）

※そのほかにも、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症を理解しご本人・ご家族を温かく見守る仲間を増やす取り組みも行っています。



相談できるところ

❖ 大川市三瀨医師会（TEL:87-2611）

おおかわオレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）という認知症の方やご家族様をサポートするチーム（認知症サポート医・看護師・作業療法士・介護支援専門員・薬剤師等）があります。認知症の対応で困っていたり、不安な状況でご自宅で生活されている方をサポートします。

❖ 行政関係

- ・大川市役所健康課健康推進係（TEL：86-8450）
- ・お住まいの地域包括支援センター



★大川北地域包括支援センター（向島・榎津・北酒見・道海島・三又地区担当）

☎ 88-1010 / 道海島 861（介護老人保健施設ふれあいの里道海内）

★大川東地域包括支援センター（酒見（北酒見を除く）・木室・田口地区担当）

☎ 88-9231 / 北古賀 559-3（小規模多機能型居宅介護あおぎり荘内）

★大川南地域包括支援センター（小保・川口・大野島地区担当）

☎ 89-2525 / 大野島 855（特別養護老人ホーム大川荘前）